

# 光山だより

4月号 発行

大沢地域のまちづくり  
協議会 広報部

<http://www.ozo.jp>

## 指定校区外通学2年目を迎えて

大沢校の児童・生徒数が減少する中で、学校園を存続させたいという切実な思いが実り、隣接する長尾校区からの、希望者による指定外通学の認可がされて、2年目を迎えることになりました。大沢校の生徒数も期待通りに増加し、幼小中全校合わせて、平成28年度当時は53名でしたが、制度認可後の29年度は79名、30年度の今年は101名となります。特に中学校の増加が著しく、当時14名から27名に、今年度は36名になります。この増加のおかげで、教室や体育館、グラウンドから、子供たちの大きな歓声が聞こえ、勉強にクラブ活動に充実した学校生活をされているものと推察されます。

先日の中学校卒業式では、卒業生がそれぞれの思い出や、将来への抱負を立派に語っていました。

その中に、中途編入してきた生徒さんが、

1年間だけの大沢校だったけど、私という人間が変わることができ、自分に自信が持てるようになりました。大沢中学校に編入して本当に良かった」と言っていたことができました。心配りの指導をして頂いた先生方はもちろん、迎える同級生、大沢町の皆さんの温かい気持ちのおかげだと思えます。今後も、大沢地区の生徒、長尾地区からの生徒の分け隔てなく、大沢校の子供たちとして、見守っていかねばならないと思います。

中学校の自転車通学においても、通学路の街灯設置に向けての環境整備の促進や、学校で行う大沢の里ふれあい運動会、町民芸術祭のあり方についても検討を進めていく必要があります。4月からは、要望しておりました通学時間に合わせた神姫バスのダイヤ改正により、送迎の負担も軽減されるもの

## 子どもも大人も 銭太鼓

桃の節句に  
らぼーとへ



3月3日、お爺ちゃんお婆ちゃんに、桃の節句のお祝いに児童館から子供たちがやってきました。銭太鼓を一生懸命にしている小さい子供たちを見て、孫を見守っているかのように微笑むお顔や涙ぐむお顔をすこさせていただきました。心癒される時間をすごさせていただき、またの来訪を楽しみにしています。

由(口伊久)

みんなでワイワイ チャリティコンサートに



類に春の訪れを感じる3月4日、大沢銭太鼓は、社会福祉協議会後援のチャリティコンサートに出演しました。観客の皆様の手拍子や即興踊りに乗り、神戸港音頭など歯切れよい明日の活力になるような銭太鼓を演じてきました。人との繋がり希薄になりつつある今、誰もが優しくいたわりの気持ちで接しているか、自分らしく輝ける」とは何かを改めて感じられるコンサートでした。

大沢銭太鼓 幸田充代

### お知らせ

大沢町出身戦没者追悼慰霊祭  
4月21日(土) 10時30分  
やすらぎの丘

### お知らせ

主任児童委員  
3月1日付で上大沢地区の上田雅子様が委嘱されました。  
よろしくお願い致します。

## 俳句

木々芽ぐむ老いにも望み傷き出づる純  
夕食にふやす一品日脚伸ぶ  
耕して畑の上は生き生きす  
春眠して天窓よりの朝日かな  
春の畑打ち返したる土匂ふ  
日脚伸ぶ終落準備忘れけり  
恋猫は鳴きやまらず雨降りやまらず  
朝散歩仕事のひとと日脚伸ぶ  
牛運いて耕やす田んぼ今遠し  
春耕や使い慣れたる鋤を出す

澄子  
たみ  
正子  
秀子  
ちが  
三恵子  
としえ  
弘枝

### お知らせ

○市道通行止め期間延長  
六甲北有料道路工事期間延長に伴い12月28日までに変更になります。

### ○狂犬病予防注射

4月11日午後1時半から2時まで  
大沢連絡所1か所になります

絵…前田明子



### 行事予定

- 4/1 道の駅「周年記念イベント
- 4/2 大沢民児協定例会
- 光山だより編集委員会
- 4/7 5町ウォーク
- 4/10 小・中学校入学式
- 4/11 狂犬病予防接種
- 4/12 婦人会定例役員会
- 4/14 ふれあい昼食会
- 4/14 体育協会総会
- 4/19 自治連合会定例役員会
- 4/25 光山だより印刷
- 4/28 学校公開デー

### 町民の動き

- うぶいえ 3/18 日西原 山口和也さん 茉莉 まりちゃんを
- おくやみ 3/10中大沢 橋本和男さん73歳
- 3/23上大沢 森 伸郎さん85歳

と意思をします。地域に住む私たちは、これからも学校・PTAと協力し、将来のある子供たちが健全な学校生活を送れるよう、支えていこうではありませんか。

自治連合会 高山寿和

## 災害発生時初動 おたすけガイド

大沢町各地区版が完成致しました。各地区の皆様が夜遅く迄、防災に目を向けて頂いたお蔭で、心より御礼申し上げます。又、御協力頂きました行政並びに各法人団体の皆様、有難うございました。

さて、おたすけガイドは皆様ご存知の通り、災害発生時の安否確認方法、並びに避難情報発令時の緊急連絡網や一時避難所、又、危険箇所を確認できる地図 GIS 国土地理院データ(使用)が、添付されています。

各地区代表の皆様が、検討作成されたガイド冊子です。災害時の一つのルールとし



て、守り合い、助け合い、協力し合う事が、出来たらと思います。地図に関しましては、今まで著作権等費用の問題で、更新作成が出来ませんでした。GISを利用することにより可能になりました。地図の見直しに関しては、神戸高専で勉強された、各地区代表の方に理解して頂きましたので、地区別に見直しできます。この取り組みは神戸市で初めてですが、今後他町も取組まれるモデルになると思います。

最後に、各地区の皆様のご努力で完成したガイド冊子も、イザと云う時役立たないと無駄になります。今後は年に2回程度の安否確認訓練、連絡網確認訓練等をガイドに添って、地区で実行して頂き、ガイドや地図の見直しも含め、イザと云う時の準備をして頂けたらと思います。

全戸配布までもうしばらくお待ち下さい。有難うございました。

安井 健十







有馬山椒の国際認証内定

大沢有馬山椒部会が有馬温泉観光協会と共に取り組んでいる活動が、イタリアの国際産物スローフードインターナショナルの認証制度「プレシディア 特別な場所」に登録されることが内定したとの新聞報道が3月20日にありました。3月末には正式に登録されるようです。これに先立ち、3月14日に開催された「農の神戸ブランド推進協議会研修会」での様子を報告します。研修会では、有馬温泉観光協会金井会長の基調講演とともに、おいしい大沢PJリーダーの藤本喜郎氏より「有馬山椒の復活と生産拡大の取組」をテーマとした実績発表が行われ、研修会終了後には「兵庫県政150周年」の年に新たな商品として開発された「有馬山椒ビール」の商品



化を目指すために、大沢有馬山椒部会の主催で試飲会が行われました。本格的に6次産業化を目指すため、山椒を使用したピクルスやチョコレートなど新開発食品も披露され、多くの参加者による意見交換の場となりました。大沢町から世界に発信できる農産物を目指して、夢のある取り組みにしていきたいと思えます。

交通システムの課題

先月、神戸市住宅都市局へ要望した内容についての回答を受けて、役員で検討しましたが大きな進展は見られず、運行時における多額の赤字補填への道筋が見えておりません。交通弱者が今後益々増加していくであろうことを危惧し、早急に対応策を構築する必要があると見ます。4月16日拡大交通PJ会議を開催し、今後の進め方を検討したいと思えます。

プロジェクト長会議

29年度最後の会議を開催し、今年度の活動内容と次年度に向けた取組案を共有しました。4月26日の事務局会議にて30年度の体制を決定、全体会は5月に開催したいと思えます。

大沢里づくり 地域協議会

去る3月5日に開催された会議では、各地区協議会より地域の現状と課題への取り組みが発表され、他地区の活動内容を知らる良い機会となりました。



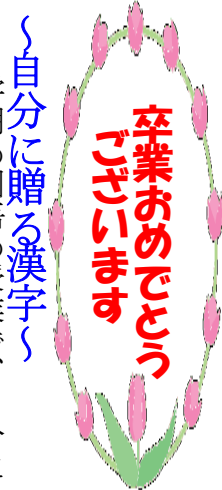
行政サイドからは市街化調整区域の許可基準の見直し」についての報告があり、平成27年に示された規制緩和の内容をより推進しやすくするための見直し案が発表されました。これは先般の意見募集を踏まえた上での緩和策であり、世帯分離住宅の土地保有要件の緩和や、農村定住起業における建て替え等での新築要件、使用者制限解除などを骨子としたものであり、平成30年度より運用できるように調整が行われております。但し、このような規制緩和策が決定したとしても、里づくり計画に位置づけられた「場合」との条件が付いていることで、すぐに運用することはできません。



せん。多くの里づくり協議会においては、発足当初の計画内容のままでも推移している現状があることから、計画内容を変更し要件を組み入れるための取り組みを行う必要があります。計画内容の見直しには地区住民総意のもと、年単位での議論が必要と思われませんが、北区まちづくり課や農業振興センターなどよりアドバイザーの派遣も準備されているようなので、地域活性化に向けて取り組みをなせばと思つた次第です。

また同日、有害鳥獣「ネノシン・アライグマ」対策の講演も、兵庫県森林動物研究センターの畑一志講師により行われました。人間の思い込みによる対策ではその効果は半減してしまい、十分な対策のためには動物の生態をもっと知る必要があるとの内容でした。是非とも青垣町にある研究センターに来ていただき、有害鳥獣被害の軽減と捕獲に協力していきましようとお話でした。

石井 保行



自分に贈る漢字

3学期の国語の授業で、自分に一文の漢字を贈りました。その漢字を選んだ理由も合わせて、紹介させていただきます。

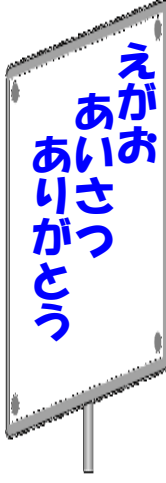
岡 優成：「静」何事にも落ち着いて対応するようにしたから。  
川村 諒真：「新」新しい学校に行き、友達も増えたとし、新しい挑戦もしたから。  
下西 教弘：「初」初めてなことばかりの1年間だったから。  
末武 源野：「超」僕は、いつも限界までしかいけないので、自分を超えるという意味でこの漢字にしました。  
仲岡 みつき：「根」寮生活で毎日とても厳しい生活が始まるので、根性を出して頑張ります。  
東本 茉莉：「友」新しい友達も増え、みんなとの友情や絆が深まった一年だったからです。  
水谷 心：「愛」私は大沢に来て、変わることができたと思うからです。  
山本 彩綺：「芯」芯の強さで苦しいことやしんどかったことも乗り越えられたからです。



今年担任 北浦 万里亜



沢山の方からの愛情を受けて、70回生の8人は大きくたくましく成長することができました。それぞれ違う高校に進み、別々の道を歩むことになりましたが、大沢中学校で築き上げたこの8人の関係は、きっと薄れることはないと思います。様々な場面で8人に労いの言葉をかけてくださったり笑顔で挨拶をしてくださった地域の方々いつも子どものことを一番に考え見守って下さった保護者の方々、本当にありがとうございます。この場をお借りして、お礼申し上げます。



青少協大沢支部

14日の青少協育成委員会では、感動的な中学校の卒業式をはじめ、幼・小・中・児童館から生き生きとした子ども達の学校生活の報告を受けました。

○登下校時の見守りも含めてご支援いただきました皆様方に感謝申し上げます。

○毎朝、子供たちから笑顔で「おはようございます。」と元気な声であいさつをされ、元気をもらっているという意見や卒業式で「毎朝、地域の方々に見守られて安心して登校できました。」という言葉があったと紹介されました。

○通学路の整備や交通量の多い箇所への対応等の課題も話題になりました。

○携帯電話やスマートフォンを子どもに持たせる場合は必ず使い方について話し合いをしましょう。

○フィラリニアを避けましょう。○子供たちが安全、安心してのびのびと健全に育っていけるように、今後とも温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

北本義利

役員改選のお知らせ

自治連合会

会長 池本 喜和  
副会長 東岡 威和雄  
会計 大家 重明

総務部会長 坂井 俊男  
文教部会長 向井 善裕  
福祉部会長 湯本 和之  
環境防災部会長 安井 健十  
まちづくり部会長 小林 俊幸

婦人会

連合会長 大家 陽子  
JA会長 仲前 禮子  
連合副会長 榎本 文子  
JA副会長 中原 清美  
連合会計 橋本 恵子  
JA会計 大西 直美  
書記 坂井 真寿美

